



Michigan News Letter

January 2025

No.4

ミシガン州経済交流駐在員

経済交流

1. デトロイト日本商工会のイベントから見た滋賀県
2. ノバイ市のみなさん、近江の地酒はいかが？

ページ 1 ~ 2

草の根交流

1. この夏、ミシガン州からの友好親善使節団が滋賀県へ！

ページ 2 ~ 3

ミシガントピック

1. ドナルド・トランプ大統領就任に関するホイットマー州知事の声明

ページ 3

経済交流

1. デトロイト日本商工会のイベントから見た滋賀県

1月26日、ノバイ市にてデトロイト日本商工会会員をはじめとする日系企業関係者、在デトロイト日本国総領事、ミシガン州副知事、ミシガン州経済開発公社総裁、ノバイ市長、バトルクリーク市長など約450名が参加する新年会が開催されました。

このようなメンバーが一堂に会する機会は数少なく、ネットワーキングの貴重な機会となっており、会場内のいたるところで挨拶や名刺交換、情報交換が行われていました。駐在員も来賓として招待いただき、ミシガン州副知事、ミシガン州経済開発公社総裁をはじめ、ミシガン州側の主要な方に挨拶させていただきました。

岸守在デトロイト日本国総領事の挨拶では、ミシガン州経済開発公社総裁より日本チーム強化の提案ももらっており、州政府とのコラボレーションを進めていきたいことや、2025年は日米中西部会が東京で開催されるため、ホイットマー州知事と大阪万博やミシガンと姉妹県州の滋賀県にも訪問したいこと等について言及がありました。

同日新しい商工会会長が就任され、これまでお世話になった前会長より、滋賀県のミシガン州での活動は経済面と文化面の両方の要素をもっており、商工会の活動や方向性とも一致していること、また、ミシガンの人たちは日本＝滋賀県のイメージを持っており、滋賀を訪れて日本に良いイメージを抱く人も多いことを教えていただきました。これまでミシガン州での活動に携わってきた人たち、そしてミシガン州からの学生たちや使節団団員のホームステイや交流事業に関わってくれた滋賀県民の皆さんのおかげで、ミシガンと滋賀の活動が多くの人たちから評価され、大切にされているのだなと感じました。

【デトロイト日本商工会とは】

1973 年創立以来、会員企業の事業発展、日米両国間の相互理解・親善の促進、地域貢献に繋がる幅広い事業活動を行っており、名誉会員、法人会員 258 社、個人会員 40 名で、合計 1,400 名を超える会員数で、デトロイトの地域の日本企業の結束の強さが感じられます。

地元貢献の一環として、日本祭り等の日本文化紹介イベントを実施しており、滋賀県も PR の機会をいただいています。さらに、JBSD 基金は、これまでに日本に留学する 200 名以上の大学生・高校生に奨学金を提供しており、彦根市のミシガン州立大学連合日本センターに留学する大学生にも支援いただいています。

デトロイト日本商工会 HP <https://jbsd.org/>

2. ノバイ市のみなさん、近江の地酒はいかが？

デトロイトから車で 30 分ほどの場所にあるノバイ市は、ミシガン州の中で日本人が一番多く住んでいる街で、日系スーパーマーケットやレストランが多くあります。このノバイ市周辺にて、日本人の経営する 2 つの飲食店を訪問しました。

一つ目は、定食などが中心で、客の滞在時間は短めですが、多種の地酒を取り揃えているお店。今回が初訪問です。ランチの種類も豊富で現地の方も多く訪問されていました。マスターに滋賀の地酒を置いてもらえないか提案したところ、二つ返事で快諾いただきました。

二つ目は、前任駐在員が訪問したものの取り扱いに至っていない飲食店です。日本にいるかと錯覚するような居酒屋で、客の滞在時間も長く、つまみを頼みながらゆっくりお酒を楽しむ雰囲気です。訪問時も日系の社員の方のグループが何組も見受けられました。この店のオーナーには、今後ミシガン州で流通する可能性のある地酒3種を持参し試飲いただきました。取り扱いの確約はいただけなかったものの、関心が高いことは確認できたため、今後もフォローアップを進めていきたいと思っています。



草の根交流

1. この夏、ミシガン州からの友好親善使節団が滋賀県へ！

1976 年から続く、友好親善使節団の相互派遣は、ミシガンと滋賀が誇る、草の根レベルの交流を深めるプログラムです。昨年 9 月には、滋賀県から 49 名の団員がミシガン州内の姉妹都市等でホームステイを行いました。今年はミシガン州民からの使節団が滋賀県を訪問する年。1 月末より州内にて団員の募集が始まりました。

今回は 7 月の実施。暑い時期ではありますが、州内の夏休みの時期と重なっているため、これまで参加したくてもできなかった学校などの教育関係者の参加もあるのでは、という期待もあります。

滞在期間のうち、メインはもちろん滋賀県でのホームステイ。これまで参加した団員からは、ホストファミリーと一緒に過ごした時間が何ものにも代えがた

募集を呼び掛けるチラシ

い思い出になったとの声も多く、草の根交流を進めるうえで非常にすばらしい体験となっています。これまで使節団の受入れにご尽力いただいた関係者の皆さん、ホームステイを受け入れてくれた皆さんにあらためて感謝します。今後、春以降に各姉妹都市でホームステイの受け入れの募集が始まる予定です。

【概要】

- ・募集対象 : ミシガン州在住の 18 歳以上
- ・募集定員 : 40 名
- ・日程 : 2025年7月8日～7月17日(滋賀県滞在は7月11日～15日)
- ・内容 : 滋賀県でのホームステイ、京都および東京観光

◆ミシガン滋賀姉妹県州委員会 HP 使節団募集サイト <https://michiganshiga.org/activities/gwm2025/>

ミシガントピック

1 ドナルド・トランプ大統領就任に関するホイットマー州知事の声明

アメリカ大統領の就任式が1月20日、日本時間の21日未明、首都ワシントンの連邦議会議事堂で行われ、ドナルド・トランプ氏が4年ぶりに大統領に就任しました。同日、ホイットマーミシガン州知事がこれに対して声明を発表しています。(以下一部抜粋)

- ・トランプ大統領が2期目を始めることにお祝いを申し上げたいし、我々が共有している優先事項に取り組むことを楽しみにしている。
- ・ミシガン州では、高収入の地元雇用を創出し、道路を修復し、自動車、防衛、海事、航空宇宙を含む先進的な製造業のために戦い、カナダにいるパートナーと協力して勤労者世帯や中小企業のコストを低く抑えることに重点を置いている。
- ・協力して問題を解決し、ミシガン州の人々のために物事をやり遂げよう。

ホイットマーミシガン州知事は、大統領選挙でミシガン州でもトランプ氏が勝利を収めた際も、分断ではなく、新政権の成功を応援し、協力し続けるというコメントを発表しており、今回の声明でも州議会の共和党と民主党、そしてトランプ大統領による新政権と協力して物事を成し遂げることを強調しています。一方で、トランプ大統領の関税提案が州の製造業にどのような影響を与えるかについての懸念も感じられます。

最後のセリフにもある「物事をやり遂げる」という意味の「get things done」からは、州民のために様々な政策を確実に実行していく、という気迫が感じられます。

ちなみに、例年1月に行われている、施政方針演説(State of the State Address)は今回の大統領就任式との時期と重なるのを避け、2月26日に延期となりました。経済および教育への支出計画も発表されるそう、来月の演説内容にも注目が集まっています。



ミシガン州政府 HP より